

2018年8月号

8月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 263

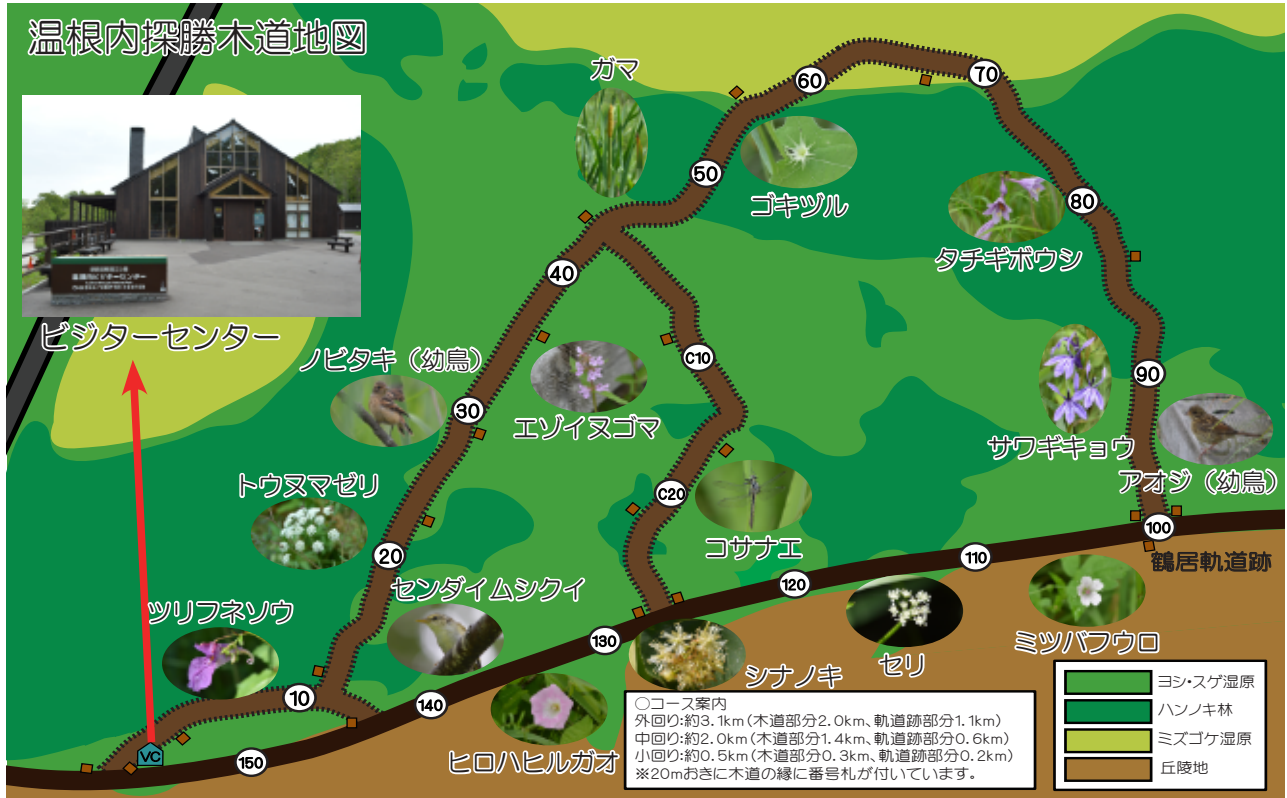


毎年変わる湿原の顔…

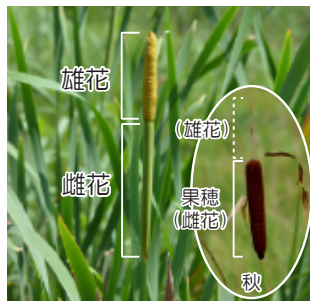
なかなかスキッと晴れる日が続かず、「このまま夏が終わってしまうのかな…」そんな不安な(?) 声も聞かれます。

湿原の植物はというと、気温を反映してか例年より開花が遅れているようです。昆虫も大発生した種もあれば、妙に見かけなくなった種も。継続して見ていると、毎年同じようで少しずつ違う湿原が感じ取れます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ガマ】
 ガマ科 蒲
 黄色い部分が雄花、その下部に雌花があります。花粉を出した雄花は早々にその使命を終え、秋に雌花の部分が実(果穂)をつけます。



【エゾイヌゴマ】
 シソ科 蝦夷犬胡麻
 ヨシ・スゲ湿原などに咲いており、長いものは1mほどまで伸びます。イヌゴマの変種で茎に開出した毛があるのが特徴です。



【ツリフネソウ】
 ツリフネソウ科 釣舟草
 湿原の入口付近に変わった形の花が咲いています。逆さにすると釣り船に見えることから名づけられたとも。距という所に蜜を溜めます。



【ハッカ】
 シソ科 薄荷
 ハーブの一種としても有名な植物で、紫色の小さな花が集まって咲いています。湧き水近くの水辺にひっそりと生育しています。



【シナノキ】
 アオイ科 科の木
 温根内周辺の樹木に咲く花の中で、終盤を飾るのがこの花です。木の近くに寄ると、かぐわしい香りが漂ってきます。



【コサナエ】
 サナエトンボ科 小早苗
 北海道全域で確認されているトンボで、釧路湿原でも今年はよく見かけます。このほかにも、色々な種類が飛び交っています。

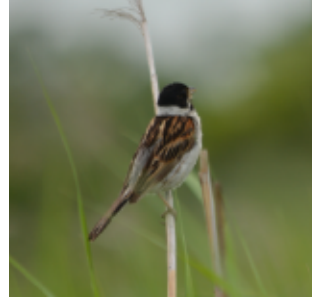
○表紙の写真 上：トモエソウ 中右：案内板に群がるサトキマダラヒカゲ 中左：サワギキョウ 下：モウセンゴケ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

雛鳥たちは巣立ちを迎え、親鳥を追いかける姿が頻繁に見られます。また、夏鳥たちに代わり留鳥の姿も目立ち始めています。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【アオジ（幼鳥）】 夏鳥
ホオジロ科 青鷗
ハンノキ林や木道の下から出てきて、歩行者を驚かせます。茶色く目立たない姿で、よく見ると顔つきが幼く感じます。



【アオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科 大寿林
こちらの子育て期に入り、「ジュリーン」というあの囀りはあまり聞かれなくなりましたが、雛鳥を連れてくる姿が見られます。



【ノビタキ（幼鳥）】 夏鳥
ヒタキ科 野鷲
ヨシ・スゲ湿原でよく見かけます。餌をねだって親鳥を追いかけていきます。上のアオジの幼鳥との違い、わかりますか？



【ハシブトガラ】 留鳥
シジュウカラ科 嘴太雀
留鳥たちが目立ち始めています。中でも本種は個体数が多く、ベレー帽をかぶったような黒い頭部が特徴です。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）和名は五十音順 *外来種

■アカネムグラ■アキカラマツ■イケマ■イグサ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■イワアカバナ■イワノガリヤス■ウド■ウマノミツバ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾタチカタバミ■エソトリカブト■エソナミキ■エソノカワチシャ■エソノコギリソウ■エソノシモツケソウ■エソノミツモトソウ*■エソノレンリソウ■エソノヨロイグサ■エゾムグラ■オオアワガエリ*■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバタネツケバナ■オオバナヤエムグラ■オオヤマフスマ■オトギリソウ■オニノヤガラ■カキツバタ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサヨシ■クサレダマ■クスダマツメクサ*■クマバナ■クロバナロウゲ■コウゾリナ■ゴキツル■コタヌキモ■コハコベ■コメツブツメクサ*■サルナシ（コクワ）■サワギキョウ■シオガマギク■シコタンキンボウゲ■シナノキ■シロツメクサ*■シロネ■セイヨウタンポポ*■セリ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■チシマガリヤス■チドリケマン■ツメクサ■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■ツルアジサイ■トウヌマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガバツメクサ■ナズナ■ナンバンハコベ■ノハラムラサキ*■ノミノフスマ■バイケイソウ■ハシドイ■ハッカ■ハナタネツケバナ■ハンゴンソウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン*■ヒメスイバ*■ヒヨドリバナ■ヒロハヒルガオ■ヘラバヒメジョオン*■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ*■ミズオトギリ■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ムラサキツメクサ*■メマツヨイグサ*■モウセンゴケ■ヤナギトラノオ■ヤブジラミ■ヤブハギ■ヤマハギ■ヤマハハコ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■ハリオアマツバメ■トビ■ノスリ■フクロウ■コゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニュウナイスズメ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■アオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



◎『ホタルの週末』7月20～22日 参加者：201名（3日間合計）
講師の渡辺氏（20・21日）は少し趣向を変えて、入口前の広場に参加者を集めてホタルに関するクイズを行い、大人子供関係なく大変盛り上がりました。22日を担当した若山氏からは、ホタルに関する生態やその文化的な背景についても教えていただきました。講師の方々が腕を振るって観察前から参加者の気分を盛り上げ、それに答えるように湿原では多くのホタルが飛び交いました。3日間とも多くの参加があり、短い道東の夏の夜を満喫できた様子でした。



◎『盛夏の花を見に行こう』8月5日 参加者：9名
夏の盛りを迎えた湿原を歩き、この時期特有の花や植物を観察する会を行いました。講師の若山氏からは、ホザキシモツケやドクゼリといった、小さな花が集まって咲いている花を中心に虫眼鏡を使って観察することを勧められ、参加者は普段とは違う花の楽しみ方を味わっていました。鶴居軌道沿いではさらに多様な植物が見られ、解説が追いつかないほどでした。参加者は皆熱心に講師の話に耳を傾け、多くの鋭い質問も飛び交う有意義な観察会となりました。



◎『ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～』8月12日 参加者：16名
外来生物とその脅威について学び、特定外来種ウチダザリガニを実際に釣って観察する、恒例のザリガニウォッチングを行いました。館内にウチダザリガニの生態や特定外来生物とは？などについて学習した後、堤防に向かい、いざザリガニ釣りを開始しました。曇りの日が続いていて水温が低めだったためか、思うように釣果はなかったものの、網を用いると小さなウチダザリガニが多く捕らえられ、その繁殖力の旺盛さを改めて知ることができました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内（9月）☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪アイヌ民族が利用した植物を観察しよう

〔日時〕9月9日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター

湿原を歩きながらアイヌ民族が利用した植物を観察し、彼らの知恵と歴史を学びます。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪バードカービング講座 1回目

〔日時〕9月9日（土）10：00～15：00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕¥5,500（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

○PV スポットガイド

〔日時〕9月15日（土）9:00～13:00（無料・申し込み不要）

釧路湿原国立公園パークボランティア（PV）の方々が、木道上の見どころのあるスポットでガイドをしてくれます。事前申し込みは不要です。通りすがりでもOK！

～スズメバチにご注意を！～



8月から9月はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いします。

.....
月刊 温根内通信 No.263

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館） 入館無料
.....